



平成 29 年 12 月 22 日

各 位

会 社 名 双 葉 電 子 工 業 株 式 会 社
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 高 橋 和 伸
(コード番号 6986 東証第一部)
問 合 せ 先 執 行 役 員 中 村 正 行
業 務 管 理 本 部 長
T E L 0 4 7 5 (2 4) 1 1 1 1

連結子会社における蛍光表示管の生産拠点集約に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 12 月 22 日開催の取締役会において、以下のとおり連結子会社において蛍光表示管の生産拠点を集約することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結子会社における蛍光表示管の生産拠点集約の理由

当社の製造品目の一つである蛍光表示管の生産は、平成 29 年 6 月末をもって国内生産を終了し、台湾およびフィリピンの生産工場に集約しましたが、同製品の今後の需要見込みとグループ全体での生産拠点の最適化を検討した結果、台湾子会社の生産を終了し、フィリピン工場に集約することにいたしました。

2. 蛍光表示管の生産を終了する台湾子会社の概要

(1) 名 称	台湾双葉電子股份有限公司
(2) 所 在 地	台湾高雄市楠梓加工出口区新開發路 1 号
(3) 代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	董事長 岩瀬 広幸
(4) 事 業 内 容	蛍光表示管, タッチセンサー, 複合モジュール, ラジコン機器等の製造・販売
(5) 従 業 員 数	1,312 名(うち、蛍光表示管関連 274 名)(平成 29 年 11 月末現在)
(6) 生 産 終 了 の 時 期	平成 30 年 3 月末(予定)

3. 従業員および資産等の取扱い

当該事項に関する人員および資産等の取扱いについての詳細は、現在検討中であります。

4. 業績に与える影響

構造改革費用として約 2 億円を見込んでおります。なお、この構造改革費用につきましては、平成 29 年 11 月 8 日に公表しました通期連結業績予想に織り込み済みです。

以 上